

04月度 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">例会</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">個人</span> 山行報告書		報告者	津田廣一	参加 メンバー	CL ; 津田 廣一 利栄子
		報告日	8/26		
山城	鈴鹿	山行日	19年 4月 21日 (日) 日帰り		
山名	雨乞岳				

山行目的	鈴鹿の山を楽しむ&トレーニング	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	-----------------	--------------------

配布先  
総会参加数  
山行: 1  
リーダー  
原紙:  
会事務局

ルート図 (地図を見て正確に)

1/2.5 万地形図:

4/21 曇り  
6:00 自宅発  
8:00 武平峠 P 着  
8:20 武平峠 P 発  
9:20 コクイ谷分岐 (1本 10分)  
10:30 広場にて 1本 (1本 5分)  
11:15 東雨乞岳 (1本 10分)  
11:35 雨乞岳(20分)  
13:00 コクイ谷分岐 (1本 5分)  
14:00 武平峠

イワウチワの大群落

クラ谷を登る

東雨乞岳 広い山頂です

降りに、東雨乞岳方面を望む

〈山行報告〉「トレーニングも兼ねて、鈴鹿にでも行かないか?」「いいよ。どこへ行く?」「雨乞はどうか?」7マウンテンで一つ残ってた。今頃だと花も多いと思うし・・・妻との会話から決定。用事のない空いている日に決めた。2hぐらいで登山口へ着くだろうと6時に出発。日曜日なので、駐車場の空きが心配だ。案の定、駐車場は止める場所なし、道路脇の空きスペースを見つけて、車を止める。手際よく準備をして出発。意図的にポレポレペースで道を探しながら急勾配を登る。子連れパーティが元気に抜いていくが、気にしない。ある程度登ると道がはっきりとし、迷う心配はなくなった。曇り空で、微風も吹いて心地よく登る。1ヶ所、尾根上をまっすぐ行くか、沢側へ右へ行くか?分かれていたが、ポイントにある標識に従い、1hでコクイ谷分岐へ、1本。お握りを頬張ってから、クラ谷側への一般登山道をまっすぐに進む。進む内に花々が姿を現し、妻は大喜びだ。傾斜も緩くなった広い所で小休止。再び急登となり、やがて笹が頭の上を覆うぐらいになる。笹のトンネルの中を必死に潜り、高度を稼ぐ。暑くなってきて、休憩できる場所を探して頑張っていると、突然に視界が開け東雨乞岳に到着。人がいっぱいだ。しばし休憩も、曇り空で景色は良くない。まずは雨乞の頂上を目指す。下って登り返すと15分位で雨乞岳の頂上へ。頂上で昼食のお握りを食べ、東雨乞の人達が登ってくる前に降り始める。下りは快調に飛ばし、2ピッチで下山。久しぶりに鈴鹿の山を楽しめた。

確認  
(リーダー)  
津  
19/08/29  
田  
作成  
(報告者)  
津  
19/08/26  
田



妻曰く「和ナリ?」 ウェン? ハルリンドウ イワウチワとショウリョウバナの競演

〈リーダー所見〉  
北海道登山のトレーニングの為に、妻を誘ってみた。軽めの山を選んだが、適度な山であった。曇り空と微風で、さほど汗をかくこともなく、快適な山行であった。雪解け後で花が結構咲いていて、この意味でも楽しむ事ができた。

鈴鹿7マウンティンの雨乞岳  
花を楽しみながら、登りました  
眺望は今一、残念!